

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】平成 20 年 6 月 19 日 (2008.6.19)

【公開番号】特開 2002-2983 (P2002-2983A)
 【公開日】平成 14 年 1 月 9 日 (2002.1.9)
 【出願番号】特願 2001-134597 (P2001-134597)
 【国際特許分類】

B 6 5 H 3/12 (2006.01)

B 6 5 H 3/48 (2006.01)

B 6 5 H 3/56 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 3/12 3 1 0 A

B 6 5 H 3/48 3 2 0 A

B 6 5 H 3/56 3 3 0 F

【手続補正書】
 【提出日】平成 20 年 4 月 30 日 (2008.4.30)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 シート積層体の底部からシート材料を連続的に送る装置において、
 吸引室を形成している手段と、
 前記吸引室上で移動可能な穴の開いた一つ以上のベルトと、
 シート積層体が前記ベルトと接触するように前記吸引室の上方に前記シート積層体の位置を確定する手段と、

前記吸引室の下流端の近くに位置決めされたシート積層体の拘束手段であって、前記拘束手段の底部と前記ベルトの間の間隙を形成するように配置されている、シート積層体の拘束手段と、

前記拘束手段の前に前記積層体の底部シートに上向きの波形状部を形成する手段とを備え、

前記間隙は、前記波形状部の形成された底部シートのみが通過できるような形状を有し、

前記波形状部を形成する手段は、前記底部シートにおける前記波形状部の範囲を変更するために、前記ベルトの移動方向にほぼ直角な方向に調節可能である、シート積層体の底部からシート材料を連続的に送る装置。

【請求項 2】 前記拘束手段は、前記吸引室の下流端の近くかつ上方に位置決めされかつ前記ベルトに関して調節するために配置されたゲートを備えている請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】 前記ゲートには、その他の部分がほぼ直線状である前記ゲートの底縁において、前記波形状部を形成する手段と整列された凹所が設けられている請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】 前記凹所は、前記波形状部の形成された底部シートの形状と形状が似ている切欠き部の形態である請求項 3 に記載の装置。

【請求項 5】 前記凹所は浅い三角形状を有する請求項 3 に記載の装置。

【請求項 6】 前記波形状部を形成する手段は、前記ベルトの形状を変化させるために、一つのベルトの中にある請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の装置。

【請求項 7】 前記波形状部を形成する手段は、互いに平行に延びている一対のベルトの間においてローラを備えている請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の装置。

【請求項 8】 前記シート積層体の前記底部シートの側面に空気噴流を向ける手段を備えている請求項 1 ～ 7 のいずれかに記載の装置。

【請求項 9】 シート積層体の底部から連続的にシート材料を送る方法において、
吸引室内で吸引力を発生させる段階と、
前記吸引室周りで穴の開いた一つ以上のベルトを移動させ、それにより、前記ベルトの面において吸引力を発生させる段階と、
前記ベルトの上面と接触させかつ前記吸引室の上方にシート積層体を位置決めする段階と、

形成された間隙を拘束手段と前記ベルトの面の間に形成する拘束手段によって前記吸引室の下流端部の近くで前記シートの前進を拘束する段階と、

前記積層体の底部シートに上向きの波形状部を形成する、波形状部を形成する手段を前記拘束手段の前に配置する段階と、

前記吸引室内で断続的に吸引作用を生じさせる段階とを備え、

前記形成された間隙を通して前記積層体の前記波形状部の形成された底部シートを送りつつ、前記拘束手段によって前記積層体の他のシートを拘束するように、前記ベルトの移動方向に直角な方向における前記波形状部の範囲は調節される、シート積層体の底部から連続的にシートを送る方法。

【請求項 10】 前記シート積層体の前記底部シートの側面に空気噴流を向ける段階を備えている請求項 9 に記載の方法。